

屋久島火災 続報 - 西日本防災システム

2013 01 22

鹿児島県屋久島町で民家9棟が全半焼し、2人が遺体で見つかった火災で、燃えた民家が集落の半径100メートル内の3カ所に分かれ、火元が少なくとも3カ所あることから、鹿児島県警は連続放火殺人事件とみて22日、屋久島署に捜査本部を設置しました。

県警によりますと、21日午前3時25分頃、屋久島町永田で「家が数軒燃えている」と住民が119番しました。木造2階建て住宅など民家6棟が全焼、3棟が半焼しました。計22人が被災し、焼け跡からここのご主人と、もう1人の遺体が見つかりました。お兄さん(60)と連絡が取れなくなっており、22日に遺体を司法解剖して死因の特定を急ぐようです。また同日午前から実況見分を始め、火元の特定や焼失面積などの捜査を始めました。

このご主人は2人暮らし。付近住民によりますと、町内の70代男性と畑の境界線を巡ってトラブルになっていたといいます。県警はこの男性ら関係者から事情を聴いています。敏幸さんは昨年、大阪から引っ越してきたようです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 